



# リニア検討調査費について

平成24年度一般会計予算 議案質疑 要点抜粋（本会議場にて）

リニア中央新幹線については、昨年5月に整備計画が決定し、9月には環境アセスも始まり、いよいよ平成39年の東京～名古屋間開業に向けて大きく動き出しました。将来への夢と希望をもたらすプロジェクトとして、当地域においても大いに期待が高まっています。

高速での大量輸送手段であるリニア中央新幹線の整備は、この愛知県に大きなインパクトを与え、この愛知県に大きなインパクトにどう対応していくかにより、愛知県の将来像は大きく変わるものと考えられます。

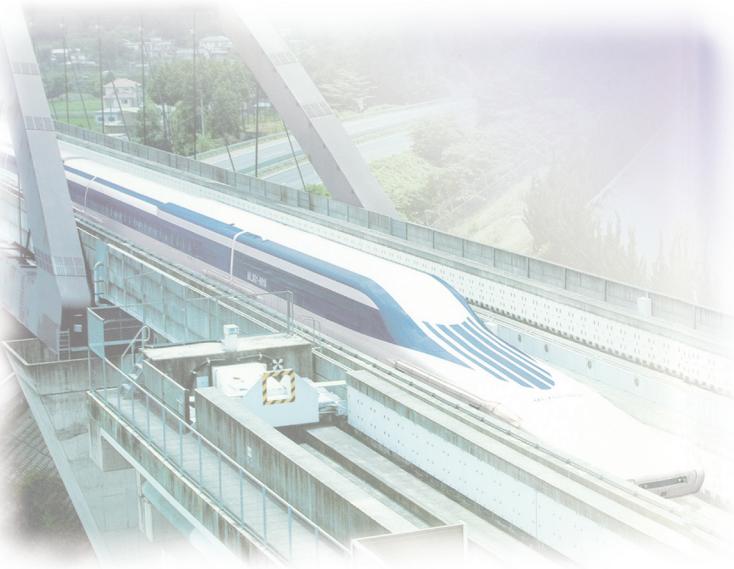
すでに、民間レベルでは名古屋駅周辺の再開発構想など、リニア開業

を見据えた様々な取組が始まっていますが、民間任せではなく、県として、リニアを活かした地域づくりのビジョンをしっかりと示し、方向付けをしていかなければならぬと考えます。

さて、リニア開業のインパクトを愛知県の地域づくりに最大限活用していくために、来年度から、この調査が実施されることになりますが、具体的にどのような問題意識・観点でリニアの効果を捉え、地域づくりに活かしていくかが重要であると考えております。

一例を挙げますと、**私の地元である名古屋西側の海部地域**は、名古屋都心に近く、名古屋のベッドタウン化が進んでいるにもかかわらず、**名古屋と結ぶ道路や鉄道などの基础设施整備が遅れています。**名古屋圏の鉄道網整備の基本計画において、**平成20年までに整備の推進を図ること**が適当とされた地下鉄桜通線の七宝までの延伸について、地域住民が長年に渡って待ち望んでいるのもかわらず、地下鉄の新路線建設については、事実上凍結されたままというものが現状であります。

さらに、1300万人規模の東京という大都市と40分で結ばれる状況下で、当然ストロー現象も心配されます。リニアの効果を活かした地域づ



9月の  
防災関係  
の一般質  
問に続  
き、津波  
避難訓練  
について  
も質問し  
ました。



来年度、県が行うリニアインパクト検討調査は、どのような視点・方針で調査をしていくおつもりかお伺いします。

今、交通ネットワークの充実の必要性を例にとり、調査を進めるにあたつての、私なりの方向性を申し上げました。



▲建設委員会にて

**県政情報を常に発信**  
**アポロのブログ**

**地元の要望(陳情)は…**

**アポロ事務所**  
〒490-1202  
あま市富塚長堀 53 - 1 Tel.052-445-1921

石塚アポロ 検索

**国府宮はだか祭り**  
大鏡餅奉納 餅つき

奉 納

春

奉 納

春

